

市民参加対象事項の取組予定に対する安城市市民参加推進評価会議の
意見への対応状況について〈令和7年度完了分〉

1 対象事項（令和7年度完了事項）へのご意見等

No.1 安城市犯罪被害者等支援条例の策定（市民安全課）		
【事業の概要】 安城市犯罪被害者等支援条例を策定する。		
	意見	対応状況
1	条例が変わるならば、市民説明会の必要があるのではないのでしょうか。	本市では令和2年4月に、市民安全課を「総合的対応窓口」として、各部署で行うことのできる被害者支援策をとりまとめ、職員間での情報共有及びワンストップ体制を整えています。
2	「パブリックコメント」と「その他（関係者団体等へのヒアリング）」のみで十分でしょうか。 いつ犯罪の被害に合うか分からない昨今です。当事者だけでなく、多くの市民の意見を求められるように、「審議会等」の設置または、「市民説明会」を開催するのはいかがでしょうか。 一般市民がパブリックコメントだけで見慣れない文章に意見を提出するのは難しく感じました。 直接聞ける市民説明会の後にパブリックコメントなど、一歩入りやすくしていただけると良いと思いますがいかがでしょうか。 市独自の内容をふまえて条例を作成されるのであれば、その点も市民説明会等で説明していただけると関心も高まると思います。	これをさらに強固なものとし、市民が安心して暮らすことができる地域社会の実現を目指して新たに条例を制定するものです。 市民の犯罪被害者等支援に関する意識や関心度を調査するためeモニターを実施した後、犯罪被害当事者団体や民間支援団体等、実際に被害に遭われた方や有識者の意見を聴取し、条例案に反映しました。その後、この内容をパブリックコメントにて一般市民の方にご覧いただき、ご意見を取り入れるよう努めました。 以上のことから、審議会及び市民説明会は行いませんでした。 しかし、被害等に遭われた方やそのご家族を社会全体で支えていくために、市民の理解を深めることは必要不可欠と考えますので、犯罪被害当事者団体と連携し、犯罪被害等の実態について考えるパネル展を開催しました。
3	予算額 413 千円は、ヒアリング及びパブリックコメントに要する費用でしょうか。 多忙な市職員の労力や人件費をかける必要があるという前提となりますが、ぜひPRの場としても独自の内容を盛り込んで市民説明会などでも広く意見を募っていただきたいです。	条例策定にあたり実施した専門家へのヒアリングに対する謝礼、ヒアリングに係る職員の交通費です。パブリックコメントに要する費用は発生していません。 市民説明会については、意見1及び2で回答したとおりです。
4	条例の策定に関して、ヒアリングの対	パブリックコメントによる意見募集時

	象に市民参加の余地がないことに少し疑問に感じます（愛知県だと被害者支援ネットワークが名古屋しかないです）。本件は、支援対象が限定的であるとしても、誰もが可能性をもつものだけに、パブリックコメントによる意見募集時には周知に努めていただきたいです。	には、広報をはじめ、市公式LINE、市公式ウェブサイト、各施設での閲覧等、様々な媒体を活用し、広く市民に周知できるように努めました。
5	審議会・ワークショップを行わないのであれば、適切な対象者に対して、適切な回数のヒアリングを行うことが望ましいです。具体的な計画・人数のイメージ、特に有識者の候補者などが早期に決まっていることが望ましいです。	安城警察署をはじめ、犯罪被害当事者団体、民間支援団体、弁護士等関係団体の方々に対し、3回のヒアリングを行いました。
6	パブリックコメントが集中しやすい12月ではなく、良いと思います。	
7	当事者団体等、日頃この課題に関わっている人たちからのヒアリングが重要だと思います。	

No.2 第5次安城市子ども読書活動推進計画の策定（アンフォーレ課）	
【事業の概要】 安城市第4次子供読書活動推進計画の計画期間（R3年度～R7年度）満了に伴い改定を行う。	
意見	対応状況
1 計画を市の公式ウェブサイトに公開するならば、公開したことを市公式LINEで知らせてほしいです。	（アンフォーレ課） LINEの配信は予定していませんが、策定した計画等の内容に応じた適切な方法で、広く周知していきます。 （市民協働課） 各課の計画等の公開日に合わせたLINE配信は実施しませんが、令和7年度中に策定/改定した市民参加対象事項の計画等をまとめてお知らせすることを考えています。
2 魅力的な計画ですし、南吉とゆかりのある安城市にとってはブランディングに繋がるプランだと思います。もう少しパブリックコメントの想定件数を増やせると良いのではないのでしょうか。	図書サービスポイントを含む公共施設におけるパブリックコメントの募集に加え、eモニターにて計画への意見を募集します。
3 予算額318千円は、ヒアリング・協議会開催・パブリックコメント実施に要する費用ですか。外部委託は無いのでしょうか。	予算額は安城市図書館協議会開催費用、計画策定アドバイザーへの謝礼を予定しています。外部委託は予定していません。
4 令和6年度にアンケートを実施し、今年度19団体のヒアリングを行うため、市民参加は適切と評価します。	
5 市民参加を推進するためのガイドラインに基づき計画されており、適切な内容となっていると判断します。	

No.3 第2次安城市環境基本計画の改定（環境都市推進課）

【事業の概要】

計画に「社会情勢の変化などを勘案し、概ね5年を目処に適宜改定を行う。」と記載しているため、計画策定から5年目にあたる令和7年度に改定を行う。

	意見	対応状況
1	審議会の委員の男女比14人：4人は是正が必要ではありませんか？	安城市環境審議会委員は、団体や関係機関等に推薦いただき選出されるため、性別指定による選任は難しいという実情がありますが、委員改選の際には男女共同参画が図られるよう引き続き配慮していきます。
2	パブリックコメントについては、（策定する内容に応じて）農業関係者、教育関係者など幅広く周知を図って、より多くの意見が集約できるようお願いします。	（環境都市推進課） パブリックコメントについては、市公式LINEでの配信を含めて、多くの意見を集められるようPRに努めます。 （市民協働課） パブリックコメント制度に関するeモニターアンケートを実施し、その中でパブリックコメント実施中の計画の周知を図りました。
3	市民生活に直結した基本計画になると思われるため、アンケート回収率を上げられるように努めてほしいです。	分かりやすい内容の設問設定に努めるほか、ウェブによる回答を可能とし、回収率の向上に努めます。
4	計画で予算額4,000千円と多額であり、広く市民の意見を求めていると思います。 一般市民がパブリックコメントだけで見慣れない文章に意見を提出するのは難しく感じました。 直接聞ける市民説明会の後にパブリックコメントなど、一歩入りやすくしていただけると良いと思いますがいかがでしょうか。	環境審議会の開催、アンケート調査及びパブリックコメントの実施により、広く市民の意見を求めます。
5	市民参加を推進するためのガイドラインに基づき計画されており、適切な内容となっていると判断します。	

No.4 第2次安城市雨水マスタープランの見直し（土木課）		
【事業の概要】 第2次安城市雨水マスタープランについて、施策の進捗状況等を踏まえた中間評価を行い、部分的な改訂を検討する。		
	意見	対応状況
1 2	審議会の委員の男女比が偏っているのではないのでしょうか。 審議会の委員の男女比10人：2人は是正が必要ではありませんか。	委員12名のうち学識経験者等の専門知識を必要とするものが9名となり、性別の指定が難しい状況でしたが、市民公募を行い、男女比への配慮に努めました。
3	パブリックコメント想定件数が2件と控え目ですが、広く周知して多くの意見がもらえるように努めてほしいです。特に、新規事業の止水板について、市民からの要望・意見を聴くことで、理解を深めることにもつながると考えます。	広報あんじょうや市公式LINEを活用し、パブリックコメントの周知に努めました。
4	防災は世間において関心が高い内容だと思います。また、近所の田んぼで水が溢れているが、対策がなされていないという市民の声も耳にします。一般市民がパブリックコメントだけで見慣れない文章に意見を提出するのは難しく感じました。直接聞ける市民説明会の後にパブリックコメントなど、一歩入りやすくしていただけると良いと思いますがいかがでしょうか。	審議会の公募市民委員の意見を参考に、一般の方に分かりやすい文章となるよう努めました。
5	市民参加を推進するためのガイドラインに基づき、計画されており、適切な内容となっていると判断します。	

No.5 安城市水道事業経営戦略の見直し（水道業務課）

【事業の概要】

「適正な水道料金のあり方」で審議した水道料金改定の内容を令和5年8月に策定した現経営戦略に反映する。

	意見	対応状況
1	審議会の委員の男女6人：3人は是正が必要ではありませんか。	当初は、男女の比率が半分半分でした。しかし、委員を選出している団体内の異動により、委員が女性から男性に代わったことや市民公募の女性が一人退任されたため、現在の男女比率になっています。 次期委員推薦時は、女性登用促進ができるよう、各団体、関係者へ促すとともに、市民公募においても配慮するようにします。 【予定調査時回答再掲】
2	パブリックコメントが0件では市民に十分に周知されているか疑問です。水道施設の耐震性について地域別に公開してほしいです。	前回の改定時は0件でしたが、今回のパブリックコメントでは、設置場所を増やした結果3人の方から3件のご意見をいただくことができ、水道事業の経営戦略に対する市民の理解を知ることができました。
3	令和7年度では、パブリックコメントの募集が予定されていますが、市民感覚の意見がどの程度必要とされているのでしょうか。意見を出せるような工夫が求められると感じます。	地域別に集計した耐震化率の資料はありませんが、本市の全水道管延長の約1,068kmに対する耐震適合管率は38.3%です。
4	経営戦略の見直しという重要なテーマに対して、令和6年度からの継続実施ではありますが、「意見を反映できる余地」、及びその理由の記載内容が不適切です。	意見を反映できる余地：「ある程度余地がある」 上記の理由：市の現状に合わせて見直しを実施するため。 に訂正します。 【予定調査時回答再掲】
5 6	予算額は0千円で適切か確認したいです。令和6年度の予算についても参考で記載してはどうでしょうか。	令和6年度の予算は委託料と審議会費合わせて10,473,375円のため、訂正します。
	予算額0千円とありますが、パブリックコメントや審議会等の費用は、予算額には含まれないのでしょうか。	令和6年度の決算額は13,374千円、令和7年度の審議会の予算額は234千円です。 なお、審議会は下水道課とともに運営しており、審議会費は折半です。

No.6 安城市生涯学習推進計画（生涯学習・スポーツ）の策定

（生涯学習課・スポーツ課）

【事業の概要】

安城市生涯学習推進計画（生涯学習・スポーツ）を策定する。

※令和6年度の予定評価を実施する際には、第5次安城市生涯学習推進計画と第3次安城市スポーツ振興計画と別で策定する予定であったため、意見及び回答が二つに分かれています。

No.6-1 第5次安城市生涯学習推進計画の策定（生涯学習課）

	意見	対応状況
1	有益と考えられる手法を組み合わせ実施されています。ワークショップや審議会などでも、パブリックコメントの募集を広めて、多くの意見を集められる工夫をお願いします（結果として少ないことに関しては問題ありません）。	計画の子ども向け概要版を各小中学校に配布し、子どもの意見を募集したところ、85件の意見提出がありました。
2	審議会等の委員任期はR6.4.1～R8.3.31となっています。新任期のタイミングのため、委員の男女比に関してもなるべく同数にしていればと思います。	策定委員会の委員は生涯学習各分野からの代表者等で構成されている安城市社会教育委員と市民公募の委員で構成しています。 次期委員推薦時は、女性登用促進ができるよう、各団体、関係者へ促すとともに、市民公募においても配慮するようにします。
3	パブリックコメントの周知方法について、eモニターや、安城市の公式LINEでも周知していただきたいです。また、公民館などの閲覧場所によってはどこにあるのか分かりにくかったので大きなポップを作るなど目立つ工夫があると良いのかなと感じました。なお、ホームページを辿るのは手間がかかるため、QRコードなど簡易的に利用できたり、アンケートの所要時間などの記載で見通しが立つようにしたりしたら、回答率増につながるのではないのでしょうか。	（生涯学習課） 公民館等でのより一層の周知、QRコードの使用などを活用し、多くの方にご覧いただけるようにしました。 （市民協働課） 令和5年度から、パブリックコメントの意見募集期間について、市公式LINEで配信しています。 令和7年度は、eモニターアンケートを実施しパブリックコメント制度の周知を図りました。また、回答率の増加につながるよう、パブリックコメント閲覧場所や制度の工夫を検討します。
4	パブリックコメントの想定件数は未定とありますが、目標値の設定は重要かと思いますがいかがでしょうか。一歩踏み込んだ工夫点もあるとなお良いのではと思います。	意見の数については目標値の設定は不要と考えますが、多くの方にご覧いただけるよう周知方法について検討し、計画の子ども向け概要版を各小中学校に配布し、子どもの意見を募集したと

		ころ、85件の意見提出がありました。
5	ワークショップの内容を教えてください。	生涯学習・スポーツの推進のために必要なことや課題について話し合い、課題を解決するための10個のプロジェクトが考案されました。 プロジェクトは新規事業として計画に取り入れたり、その意見や考え方を計画に反映させました。
6	アンケートの回収率が50%と低いいため、15歳以上の学生が通う学校にもアンケートを配布して回収率をあげる工夫などをしたらいかがでしょうか。また、未来を生きる子ども達を対象にして年齢を下げたらいかがでしょうか。	子どもから大人まで幅広く意見を聞くため、18歳以上の市民に加え、小学生、中学生、高校生にもアンケート調査を実施し、市民団体やスポーツ団体の関係者へもアンケート調査を行いました。
7	アンケートの調査対象を15歳以上とされていますが、その理由はなぜでしょうか。 12歳以上からにして学校などでアンケート配布をすると回収率もあがるように思います。	子どもから大人まで幅広く意見を聞くため、18歳以上の市民に加え、小学生、中学生、高校生にもアンケート調査を実施し、市民団体やスポーツ団体の関係者へもアンケート調査を行いました。
8	ワークショップ7回、アンケート、パブリックコメントの手法での市民参加を評価できます。ただし、ワークショップが同じメンバー25名とすると、令和7年度の6回のワークショップがタイトなスケジュールになっていることでの参加率の低下が心配されます。	令和6年度及び7年度で計4回の実施としました。ワークショップは20人の参加者があり、4回のうち2回は参加者を10人ずつに分けた分科会を実施しました。 毎回8割以上の参加がありました。
9	対象を全安城市民としていらっしゃるのので、より多くの市民に認知されるように伝え方を工夫していただけないかと思えます。	計画の内容を広く市民に周知できるよう取り組んでいきます。

No.6-2 第3次安城市スポーツ振興計画の策定（スポーツ課）

	意見	対応状況
1	有益と考えられる手法を組み合わせる実施されています。ワークショップや委員会などでも、パブリックコメントの募集を広めて、多くの意見を集められる工夫をお願いします（結果として少ないことに関しては問題ありません）。	No.6-1の回答と同様 委員会等でパブリックコメントの募集を広める等、多くの意見を集められるよう取り組んでいきます。

2	<p>パブリックコメントの周知方法について、eモニターや、安城市の公式LINEでも周知していただきたいです。また公民館などの閲覧場所によってはどこにあるのか分かりにくかったので大きなポップを作るなど一歩踏み込んだ目立つ工夫があると良いのかなと感じました。</p> <p>なお、ホームページを辿るのは手間がかかるため、QRコードなど簡易的に利用できたり、アンケートの所要時間などの記載で見通しが立つようにしたりしたら、回答率増につながるのではないのでしょうか。</p>	<p>No. 6-1 の回答と同様 (スポーツ課)</p> <p>令和6年度に他課が取り組んだ事例を参照することにより、多くの市民の目に触れることができるよう取り組んでいきます。</p> <p>(市民協働課)</p> <p>令和5年度から、パブリックコメントの意見募集期間について、市公式LINEで配信しています。</p> <p>令和7年度は、eモニターアンケートを実施しパブリックコメント制度の周知を図りました。また、回答率の増加につながるよう、パブリックコメント閲覧場所や制度の工夫を検討します。</p>
3	<p>パブリックコメントの想定件数に3件とありますが少なく感じます。他に何か増やす工夫などはありますか。</p>	<p>パブリックコメントについて、上記取組み等を実施し、広く周知を図りました。</p> <p>また、安城市生涯学習推進計画（生涯学習・スポーツ）（子ども版）を市内小中学校に送付し、周知依頼しました。</p>
4	<p>アンケートの回収率が30%と低いため、時期や対象など工夫してはどうでしょうか。</p>	<p>インターネットでの回答を実施することにより、回答率の向上を図りました。</p>
5	<p>アンケートの調査対象、回収見込み数について、18歳以上で回収率30%とされていますが、部活動なども関係してくるのであれば、小学校6年生以上とその保護者などにして学校等でアンケート配布するのはいかがでしょうか。回収率もあがり課題把握に直結すると思います。回収率30%は別の対象事項と比較して少ないと思います。部活動以外のものであれば、調査対象を実際に関係する年齢からでも良いと思います。</p>	<p>従来のアンケート結果と比較できるように、対象を無作為に抽出し、インターネットでの回答を実施して、回答率の向上を図りました。</p>
6	<p>パブリックコメント、アンケート両方とも、想定件数の少なさ、回収率の低さが心配されます。いずれも多くの方の意見をくみ上げる努力が欲しいです。</p>	<p>パブリックコメント及びアンケートについて、上記取組み等を実施し、意見の収集に努めました。</p>

No.7 安城市文化振興計画の見直し（文化振興課）

【事業の概要】

安城市教育大綱に基づき、分野別計画に相当する文化振興計画の見直しを実施する。

	意見	対応状況
1	パブリックコメント想定件数が1件と少ないため、情報周知と意見をもらう工夫が必要と思われます。	（文化振興課） 計画策定時（令和2年）実施の周知方法に加え、市公式LINE、歴史博物館及び市民ギャラリーウェブサイトでも情報発信を行い、より多くの方がご意見をお寄せいただけるよう周知を図ります。 （市民協働課） パブリックコメント制度に関するeモニターアンケートを実施し、その中でパブリックコメント実施中の計画の周知を図りました。
2	アンケート対象に、次世代の若い年齢層（18歳未満）も入ると良いです。	幅広い年齢層のご意見を反映できるように、文化芸術活動を行う個人又は団体を対象に行うアンケートに年齢制限は設けず実施します。
3	eモニターの回収見込みが多い気がするのですが、なにか施策があるのでしょうか。またはeモニターだと毎回これくらいの回収率がありますか。	eモニターの回収見込みは今年度実施結果の89.4%を参考に算定しました。
4	予算額504千円は、アンケート・パブリックコメント・審議会に要する費用でしょうか。 外部委託は無いのでしょうか。	お見込みのとおりです。外部委託はありません。
5	市民参加を推進するためのガイドラインに基づき、計画されており、適切な内容となっていると判断します。	
6	委員の男女比が半数ずつで評価できます。	

2 令和6年度第2回安城市市民参加推進評価会議（令和7年度市民参加対象事項（予定））における市民参加の推進全般に関するご意見等

	意見	対応状況（市民協働課）
1	各対象事項の評価は絶対評価であると思いますが、何の改定なのか、また重点項目が分からないと参加の手法などが適切であるかどうか分からず、評価がぶれる難しさがあると感じます。	資料1（様式1-2）には、計画や条例の概要を記載しています。 なお、現行計画については、本編や概要版を市公式ウェブサイトで公開していますので、必要に応じて参考にしてください。 【予定調査時回答再掲】
2	審議会の男性と女性の比率について、審議会の委員構成によっては、比率が偏ることも現状仕方ない中で、比率をどのように捉えるかについては意見（評価）がしづらいつと感じます。	現状、分野により委員の男女比が偏ることがありますが、今後も、男女共同参画が図られるよう引き続き配慮していきます。 また、委員構成の評価は、様々な立場の方の参加という点を重視してご評価いただきたいです。 【予定調査時回答再掲】
3	2年間継続する場合の判断方法が難しいと感じました。2年目の予定だけの評価した場合に、途中からの意見に意味がありますか。ほとんどの場合現実的には変更することが難しいのではないのでしょうか。	ご意見のとおり、既に開始している内容について、評価し、変更を促すことは現実的に困難な場合があります。 したがって、開始前の予定評価が間に合わなかった事項は、予定の評価はしないものとし、委員の皆様には、実績の中間報告をさせていただきます。 なお、計画等の策定期間が終了した際には、実績に対して評価をいただき、次回以降の市民参加に活かしていきます。 【予定調査時回答再掲】
4	公共性が高い計画策定に対しては、適切な対象者に適切な方法での意見を聞く機会を実施することと、そのための方法（eモニターの充実など）を模索して整備することも重要であると感じます。 これまで実施してきたパブリックコメントの数を増やすことではなくて、ITツールなども活用して、市民に広く認知する機会と、市民からの意見を聞く機会の双方向のコミュニケーションを取るために、何ができるか検討し、実施することが望ましいです。	ご意見のとおり、公共性の高い計画策定等については、関係が深いと思われる対象の市民に深く認知していただくためにも、様々な手法を模索していく必要があると考えます。 新たな取り組みとして、パブリックコメント制度に関するeモニターアンケートを実施し、併せてパブリックコメント募集中の計画等についてのご意見を聴取できるようにしました。アンケート実施の結果、市の施策やパブリックコメントの制度を知っていただく機会となりました。また、計画等に関するご意見も多く集まり、今後の取り組みの参考として各担当課へ提供しました。

5	資料の形式面で不備がある場合は、事前に事務局などでのチェックを行った上で整備してはどうでしょうか。	各課が作成したシートについては、事務局で確認しています。記載内容は担当課と調整し、不備が無いよう努めています。
6	各課で計画案を策定していますが、審議会等の資料がメールと郵送で重複しているため、できる限り郵送を少なくしてほしいです。	経営管理課により審議会等におけるペーパーレスの推進の基本方針が示され、各課へ周知されました。
7	市の公式LINEを積極的に用いているのが良いと思いました。	/
8	全てに対して、パブリックコメントの周知が様々な設置場所や媒体でされており良いと思いました。	/